

## 平成 23 年 2 月市会定例会提出議案

## 1 平成 23 年度京都市自動車運送事業特別会計予算

経 常 収 入	215億82百万円
経 常 支 出	197億56百万円
経 常 損 益	18億26百万円
△ 累 積 欠 損 金	△53億36百万円
△ 累 積 資 金 不 足	△65億60百万円

## &lt;主な業務の予定量等&gt;

年度末在籍車両数	760両 (760両)
走行キロ数 〔1日平均〕	80.7千km (80.7千km)
旅客数 〔1日平均〕	317千人 (316千人)
職員数	799人 (809人)

注 ( ) 内は、平成 22 年度の数値である。

## (1) 予算のポイント

平成 23 年度予算は、経営健全化計画に掲げた収入増加策やコスト削減策の推進により、安定的で自立した経営基盤の確立に向けて、着実に前進する予算編成とした。

## (2) 主要事項

## ア 経営健全化の推進

## (ア) 収入増加策

- お客様の利便性向上に向けた市バス運行の充実
- ・地下鉄をはじめとする鉄道との乗継利便性の向上
  - ・堀川通のダイヤ充実
  - ・東山方面から京都駅への運行充実

## (イ) 総人件費の削減

業務見直し等による職員数削減、給与カットの継続など

## (ウ) バス車両購入費の削減

個々の車両状態を徹底的に点検精査し、更新車両数を抑制（更新車両数 7 両）

## イ お客様サービスの向上

- (ア) ポケロケシステム（携帯電話用の市バス接近情報提供システム）の複数系統表示  
(イ) バス停時刻表の文字拡大による視認性向上  
(ウ) 交通局ホームページでのポケットサイズ時刻表の印刷サービス

## ウ バス待ち環境の向上

広告付きバス停上屋による整備を促進するなど、バス停上屋やベンチを充実

## (3) 財政状況

(税込)

年 度 項 目		2 3年度予算		2 2年度予算		増 △ 減	
		億	百万円	億	百万円	億	百万円
経 常 損 益	営業収益	197	32	196	87		45
	運送収益	186	13	185	58		55
	その他	11	19	11	29	△	10
	営業外収益	18	50	21	37	△	2 87
	一般会計補助金	18	32	21	30	△	2 98
	収入計	215	82	218	24	△	2 42
	営業費用	190	48	201	33	△	10 85
	人件費	80	41	87	86	△	7 45
	経費	96	86	97	02	△	16
	減価償却費等	13	21	16	45	△	3 24
営業外費用	7	08	7	52	△	44	
支出計	197	56	208	85	△	11 29	
差引	18	26	9	39		8 87	
△ 累積欠損金		△	53 36	△	90 55		37 19
資 本 的 収 支	企業債	3	06	14	30	△	11 24
	補助金		60		41		19
	収入計	3	66	14	71	△	11 05
	建設改良費	4	27	14	79	△	10 52
	企業債償還金	20	28	23	43	△	3 15
支出計	24	55	38	22	△	13 67	
差引	△	20 89	△	23 51		2 62	
△ 累積資金不足		△	65 60	△	95 33		29 73
資金不足比率			34.4%		50.2%		△ 15.8%

## (4) 企業債の状況

年 度 項 目	2 2年度末 未償還残高	年 度 内 増 △ 減			2 3年度末 未償還残高
		発行額	償還額	差引	
	億	億	億	億	億
建設企業債	80	3	20	△17	63
	23	06	28	22	01

## 2 平成23年度京都市高速鉄道事業特別会計予算

経常収入	282億12百万円
経常支出	375億43百万円
経常損益	△93億31百万円
現金収支 (償却前損益)	29億23百万円
△累積欠損金	△3,388億77百万円
△累積資金不足	△309億83百万円

### <主な業務の予定量等>

年度末在籍車両数	222両[37編成] (222両[37編成])
走行キロ数 〔1日平均〕	56.9千km (56.9千km)
旅客数 〔1日平均〕	331千人 (328千人)
職員数	579人 (588人)

注 ( ) 内は、平成22年度の数値である。

### (1) 予算のポイント

平成23年度予算は、経営健全化計画に掲げた収入増加策やコスト削減策を推進するとともに、計画を上回る旅客数の増を見込むなど、経営の健全化に向け、着実に前進する予算編成とした。

### (2) 主要事項

#### ア 経営健全化の推進

##### (ア) 収入増加策

- ・地下鉄開業30周年記念事業の実施
- ・駅ナカビジネスの積極的展開（地下鉄京都駅賑わい創出事業）

##### (イ) 総人件費の削減

駅職員業務の民間委託の拡大、業務の効率化等による職員数削減、給与カットの継続など

##### (ウ) 一般会計からの支援

- ・地下鉄京都駅賑わい創出事業への出資
- ・国制度に基づく経営健全化対策出資
- ・市バス事業への補助金削減を財源とした高資本費対策補助

#### イ お客様サービスの向上

- (ア) ICカード乗車券の全国相互利用（平成24年度末）に向けた機器改修
- (イ) 烏丸御池駅の新規店舗展開に伴うトイレの改修

#### ウ 安全で快適な地下鉄の運行

- (ア) 車両安全対策の実施（自動列車停止装置等の改良）
- (イ) 京都駅における列車・ホーム間隙間の注意喚起灯の設置

## (3) 財政状況

(税込)

項 目		年 度		2 3 年度予算	2 2 年度予算	増 △ 減	
				億 百万円	億 百万円	億 百万円	
経 常 損 益	営 業 収 益	246	79	242	25	4	54
	運 輸 収 益	229	93	227	25	2	68
	そ の 他	16	86	15	00	1	86
	営 業 外 収 益	35	33	34	77		56
	収 入 計	282	12	277	02	5	10
	営 業 費 用	258	91	266	48	△ 7	57
	人 件 費	61	26	63	27	△ 2	01
	経 費	72	96	72	57		39
	減 価 償 却 費 等	124	69	130	64	△ 5	95
	営 業 外 費 用	116	52	131	75	△ 15	23
支 出 計	375	43	398	23	△ 22	80	
差 引		△ 93	31	△ 121	21	27	90
現金収支(償却前損益)		29	23	8	07	21	16
特 別 損 益			0		6	△	6
再 差 引 ( 純 損 益 )		△ 93	31	△ 121	15	27	84
△ 累 積 欠 損 金		△ 3,388	77	△ 3,325	59	△ 63	18
資 本 的 収 支	企 業 債 金	123	47	198	80	△ 75	33
	補 助 金	11	26	11	69	△	43
	出 資 金	118	55	139	10	△ 20	55
	そ の 他	1	10		0	1	10
	収 入 計	254	38	349	59	△ 95	21
	建 設 改 良 費	85	28	76	57	8	71
	企 業 債 償 還 金	210	21	285	81	△ 75	60
長 期 借 入 金 返 還 金	8	67	8	36		31	
そ の 他		60		97	△	37	
支 出 計	304	76	371	71	△ 66	95	
差 引		△ 50	38	△ 22	12	△ 28	26
△ 累 積 資 金 不 足		△ 309	83	△ 310	82		99
資 金 不 足 比 率		97.8 %		125.7 %		△ 27.9 %	

注：建設改良費には、鉄道・運輸機構借入金返還金49億70百万円を含む。

## (4) 企業債及び借入金の状況

項 目	年 度	2 2 年度末 未償還残高	年 度 内 増 △ 減			2 3 年度末 未償還残高
			発 行 額	償 還 額	差 引	
		億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円
建 設 企 業 債		2,357	[13]15 38	[13]15 169	△130	2,227
出 資 債		32	0	0	0	32
特 例 債		138	8	23	△15	122
資 本 費 平 準 化 債		406	76	0	76	482
資 本 費 負 担 緩 和 分 企 業 債		863	20	17	3	866
小 計		3,765	144	210	△65	3,699
鉄 道 ・ 運 輸 機 構 借 入 金		474	0	49	△49	424
長 期 借 入 金		438	0	8	△8	429
合 計		4,678	144	268	△124	4,554

注：発行額及び償還額の上段〔 〕は、建設企業債借換分で内数である。